

胃検診がかわります!!

日本人に多い「胃がん」。
 しかし、早期に発見すれば
 高い確率で助かるといわれています。
 だからこそ検診が大切。
 日新電機健康保険組合は、
 平成24年度から新しい胃検診を始めます!

バリウムによる
 レントゲン検査
 から血液検査に



ピロリ菌に感染?! どうしよう...

除菌をおすすめします



ピロリ菌は胃粘膜に炎症を起こし、慢性的な胃炎は、萎縮性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、がんなどを生じやすくするといわれていますので、除菌されることをおすすめします。

医療機関で処方される内服薬で除菌することができますので、除菌については受診される医療機関の医師にご相談ください。

保険が適用されない除菌については、カフェテリアプランをご利用ください。

胃がん予防には生活習慣の改善も!

塩分の多い食生活や喫煙が胃がんの発生リスクを高めることが知られています。
 胃がん予防には、日頃の生活習慣を見直し、改善することも大切です。

塩分を控える

塩分によって胃の粘膜が傷つく
 と胃がんにつながります。1日の
 塩分摂取は男性9.0g、女性
 7.5g未満を心がけましょう。



減塩のコツ

- 調味料はかけずに「つける」
- 塩のかわりに酢や香辛料、薬味を
- しょうゆやみそは減塩タイプを

野菜や果物をたくさんとる

野菜や果物に多く含まれる抗酸化物質
 ががんの発生を抑制するといわれてい
 ます。
 1日400g摂取するように心がけましょう。



野菜や果物を400gとるコツ

- 400gの目安は野菜小鉢5皿、果物1皿
- 果物は朝に
- 野菜は火を通してたくさん食べる

やっぱり、禁煙

喫煙者の胃がん発生リスクは非喫煙者
 に比べ約2倍。しかし、禁煙することで
 確実にこのリスクは低下します。今から
 でも遅くはありません。禁煙しませんか。



禁煙のコツ

- 思い切ってライターや灰皿を捨てる
- 周囲に禁煙宣言し理解と協力を
- 禁煙補助薬(ニコチンパッチ・ニコチンガム・内服薬)を利用
- 禁煙外来で医師のサポートを受ける

あなたの検査結果を記入しておきましょう。

測定日	年 月 日	ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査	
		陰性(-)	陽性(+)
ペプシノゲン検査	陰性(-)	A群	B群
	陽性(+)	C群	

B群、C群の方は
 必ず医療機関で
 精密検査を
 受けてください。

血液検査で胃がんリスクがわかる!!

今までの胃検診は、胃部X線直接撮影(バリウム検査)で胃の異常を見つける検査でしたが、平成24年度からは胃の健康度を血液検査で判別する「胃がんリスク検診(ABC検診)」にかわります。

「ABC検診」とは

ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査※1、ペプシノゲン検査※2を血液検査により行い、それぞれの検査の陰性が陽性かの組み合わせにより、胃の健康度[胃がんになりやすいか否かのリスク(危険度)]を判別します。

胃の健康度を判別した結果、精密検査や治療が必要な人に適切な対応をすることで胃がん予防につなげます。

「ABC検診」は胃がんを見つける検査ではありません。

※1 ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査

胃粘膜に炎症を起こすヘリコバクター・ピロリ菌(以下ピロリ菌)に感染していないかを調べる検査。慢性的な胃炎は、萎縮性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、がんなどを生じやすくするといわれている。

※2 ペプシノゲン検査

胃粘膜の萎縮(老化)の状態を調べる検査。胃がんの多くに、胃粘膜に萎縮がみられる。



●ABC検診のリスク分類

		ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査(以下、ピロリと略)	
		陰性	陽性
ペプシノゲン検査 (以下、ペプシと略)	陰性	A群 (0%) 異常なし	B群 (0.15~0.17%) 胃がんや胃潰瘍に注意
	陽性	C群 (1.89~2.38%) 胃がん発生のリスク大 ピロリ菌が陰性の場合、 ピロリ菌が住めないほど 胃が萎縮しています!!	

*上記の表中の()の%数字は、胃がんの発現率(三木一正教授らによる日本胃がん予知・診断・治療研究機構の研究による)

胃がんの危険度

A → B → C

*B群、C群に該当された方は、必ず医療機関で精密検査を受け、経過を観察してください。

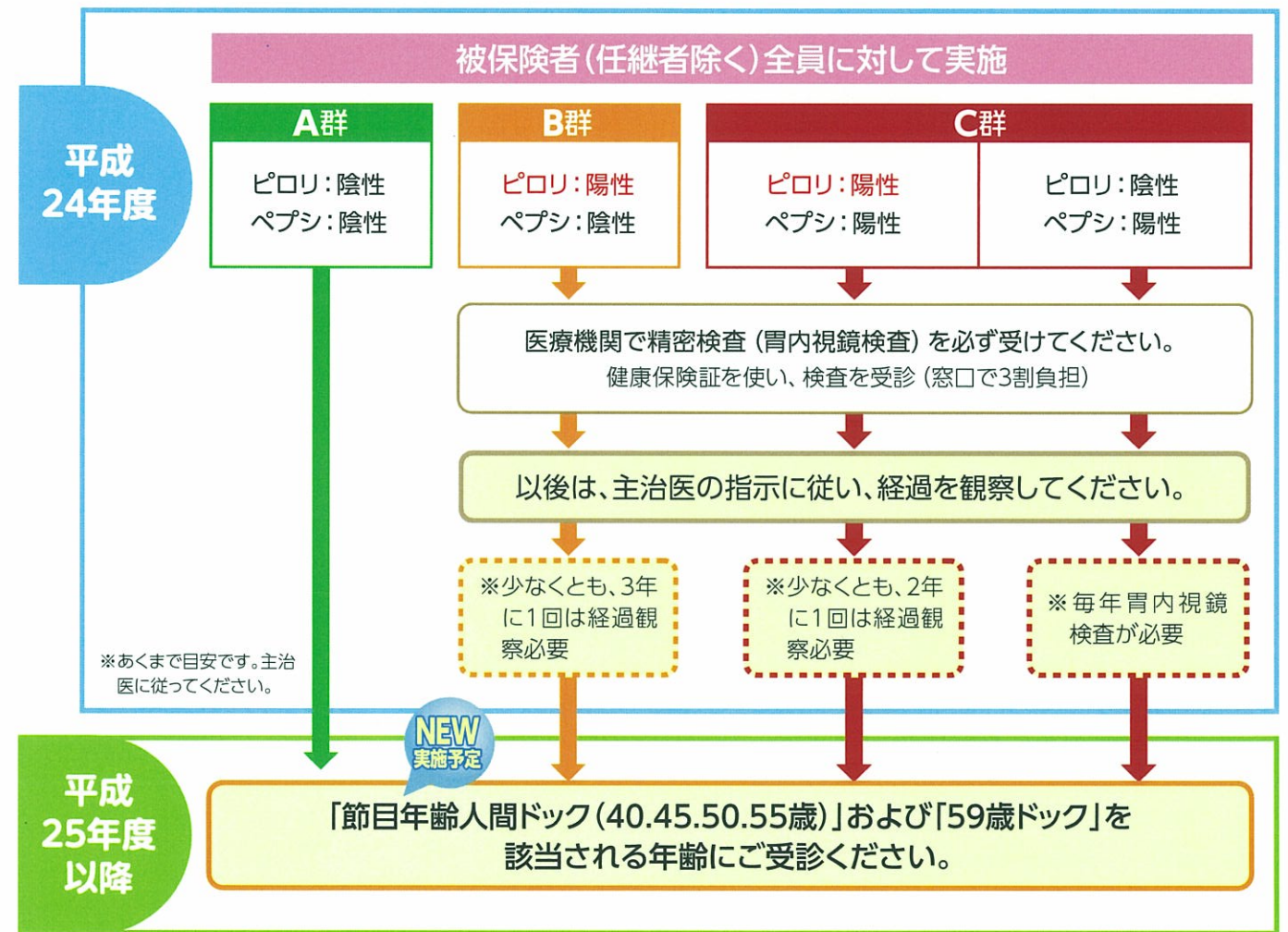
*自覚症状のある方は、ABC検診の結果に関係なく医療機関で受診してください。

「ABC検診」とその後の胃検診の流れ

血液検査で胃の健康度を判別する「ABC検診」の実施とともに、現行の定期健康診断時に実施する胃部X線直接撮影(バリウム検査)は廃止します。

ABC検診を平成24年度に受けていただいた後は、節目年齢人間ドック等において該当年齢時に画像診断(A群は胃部X線直接撮影(バリウム検査)、B・C群は胃内視鏡検査)を受けていただくことになります。

なお、ABC検診は、被保険者1人につき1回のみの実施です(成人後にピロリ菌に感染する可能性は極めて低いため)。



*平成25年以降に入社された方は、ABC検診を別途実施

ご注意!

次に該当される方は、ABC検診の結果に関係なくかかりつけ医で定期的に経過を観察してください。

- 消化器の病気ですでに治療を受けておられる方
- 胃酸分泌抑制剤を服用されている方
- 胃を切除された方
- 腎不全の方
- ピロリ菌の除菌治療を受けられた方